仲井真弘多沖縄県知事殿

米軍普天間飛行場の辺野古移設への日本政府の埋め立て申請に関する

要請書

辺野古移設の埋め立て申請を断固、拒絶してください

承認すべきではない理由

1、 新たな軍事基地建設は、子々孫々に苦難の歴史を沖縄人自ら歩ませることになる。

2、 沖縄県制定の「自然環境の保全に関する指針」によると、辺野古海域は評価ランク「1」で、自然環境の厳正な保護、保全を図る海域で、新たな計画の立地を回避すべき海域です。知事は、自らこの指針を厳守する責任がある。

3、 天から授かったかけがえのない大自然を、沖縄人自ら破壊することに手を貸すことになる。

4、 明治１２（1879）年、ヤマトの松田道之「琉球処分官」に武力を背景に琉球王国が消滅させられ、以後琉球・沖縄住民は沖縄戦、米軍占領統治によって、多大な被害・迫害をうけてきたが、その追認につながる。

5、 沖縄の自民党国会議員などを恫喝して辺野古移設を容認させた自民党石破茂幹事長は、現代の「琉球処分官」そのものであるが、埋め立て申請に対して、知事が承認する事態になれば、沖縄県知事までも「現代版琉球処分官」に、屈したことになり、圧倒的多数の住民に耐えがたい屈辱・怒りを未来永劫与え続けることになる。

以上の理由などを、根拠にして埋め立て申請を断固拒絶してください。
日米両政府による沖縄迫害の歴史に終止符を打つ第一歩となる英断を下した知事として、燦然と歴史に輝く偉大な知事として、後世の人々に語り継がれ、崇められることを期待してやみません。

2013年12月20日

伊江島・（財）わびあいの里

理事長　山内徳信　　謝花悦子　　石川元平　　榎本恵

石原昌家　　山城弘子　　川野純治